

# JCHO人吉医療センターの へき地医療に対する取り組み



独立行政法人 地域医療機能推進機構

人吉医療センター 院長 木村 正美

2014.10.17

# JCHO HMCの概要(1)

所在地：熊本県人吉市老神町3-5 医療圏名：球磨

- ◆地域医療支援病院
- ◆地域がん診療連携拠点病院
- ◆臨床研修指定病院(基幹型・協力型)
- ◆災害拠点病院
- ◆DMAT指定病院
- ◆救急告示病院・病院群輪番制病院
- ◆地域周産期中核病院
- ◆小児救急医療拠点病院
- ◆第二種感染症指定病院
- ◆日本医療機能評価機構認定病院

# JCHO HMCの概要(2)

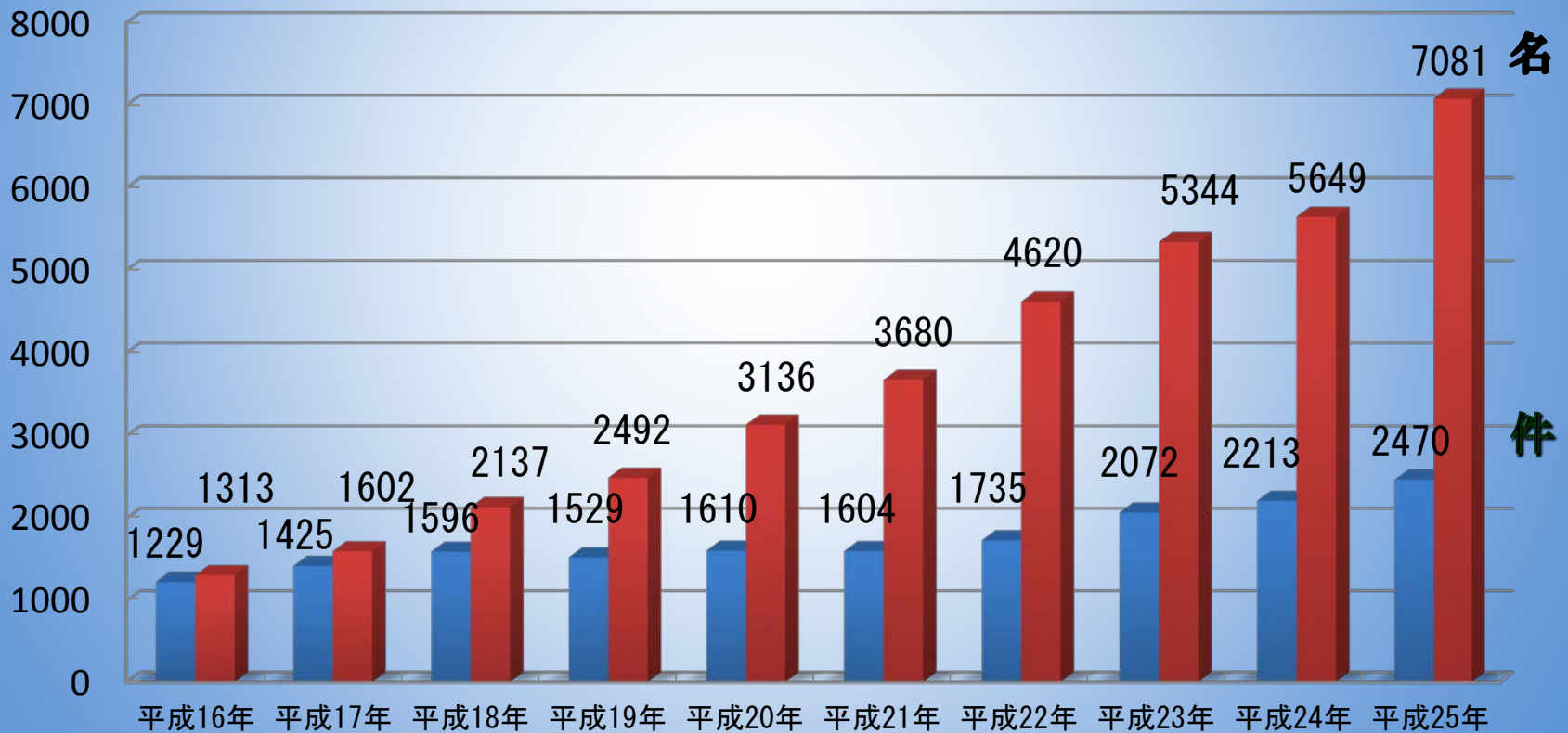
- ◆診療科 26診療科
- ◆許可病床 252床
- ◆7:1看護基準 ( 緩和ケア23床 ICU8床)
- ◆職員460名 (医師47名、歯科医3名、看護師226名)
- ◆主な医療機器 放射線治療装置 PET/CT 64列CT  
MRI 1.5 3.0



# JCHO HMC 救急外来患者数

■ 救急車搬送数 ■ 救急外来患者数

(19.4名/日)



# 五木村の概要

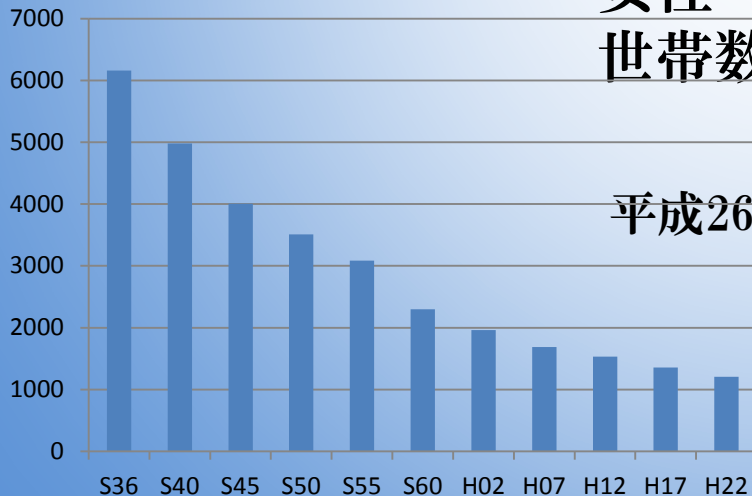
熊本県南部、二次医療圏域の北部に位置している。村全体が九州山地の山岳地帯にあるため、標高1,000m以上の山岳が連なり、平坦部は非常に少なく深い峡谷が縦横に走る急峻な地形が特徴。

面積 : 252.94km<sup>2</sup>

人口 : 1,227人 男性 : 593人

女性 : 634人

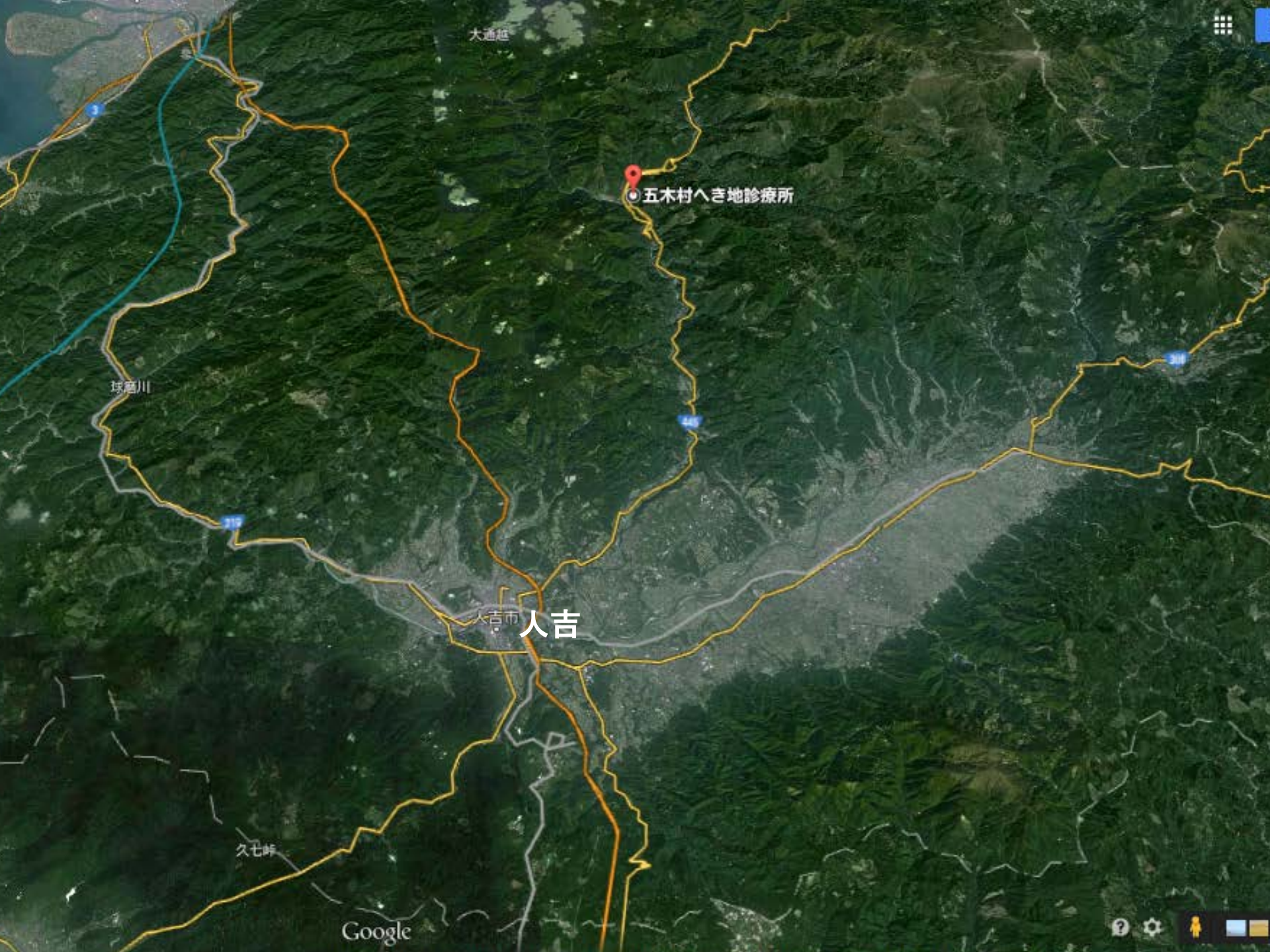
世帯数 : 525世帯





五木村へき地診療所

人吉医療センター



大通越

五木村へき地診療所

球磨川

久七峠

人吉市

Google



掛橋谷



五木村へき地診療所

Google





# 五木村診療所の歴史

- 昭和30年 「国民健康保険直営診療所」として開設  
熊大第一外科から1か月交代で赴任
- 昭和58年 「五木村診療所」、常勤医確保
- 平成3年10月～4年5月 人吉総合病院から日替わりで応援
- 平成4年6月～ 松橋町の医師常勤赴任
- 平成11年 熊本県の協力 自治医科大学卒医師の派遣開始
- 平成20年4月～ 人吉総合病院 医師と看護師の派遣開始
- 平成23年4月～ 人吉総合病院 指定管理者として運営開始

(～平成28年3月31日)



# 五木村診療所の診療体制

- ◆診療科 内科・外科・歯科
- ◆診療曜日 月・火・木・金（水曜日：休診）
- ◆診療時間 8:30～17:15

## ◆スタッフ

医科医師 [ 所長：自治医大卒医師（県より派遣）  
・外科 ・血液内科 ・代謝内分泌内科 ・呼吸器内科

歯科口腔外科医師

看護師 3名 看護助手 1名

歯科衛生士 1名 事務員 1名

# 診療の様子



# 指定管理者制度による運営

---

## 運営の目的

1. 五木村住民の医療の質の確保
2. 五木村住民の健康維持
3. 五木村住民の医療に対する安心・安全の確保

## 運営戦略

1. 五木村診療所の運営の健全化①②
2. 五木村住民の健康診断及び予防活動
3. 五木村との医療連携

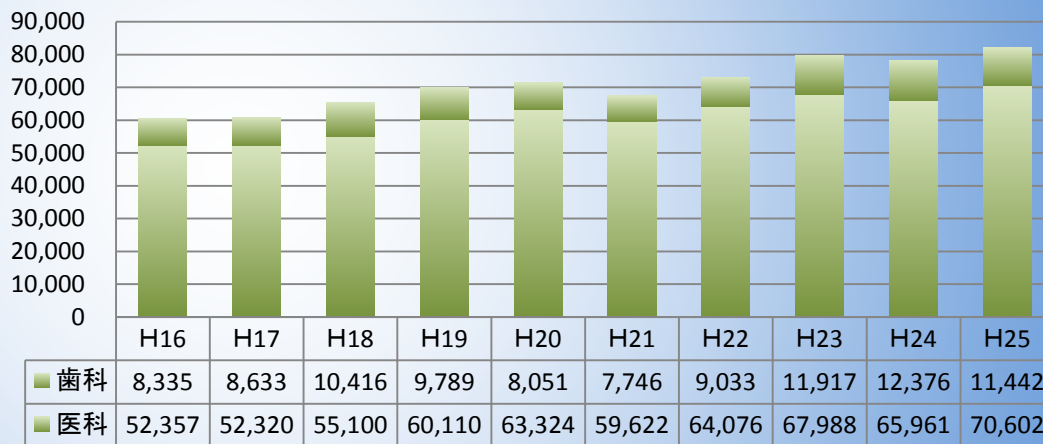
# 指定管理者制度による運営

## 1. 五木村診療所の運営の健全化①

コンセプト：公的病院であることを鑑み、収入アップを前面に推し進めるものではなく、必要な診療の再確認と診療請求漏れを防止することにより、適切な診療請求を求めていく。

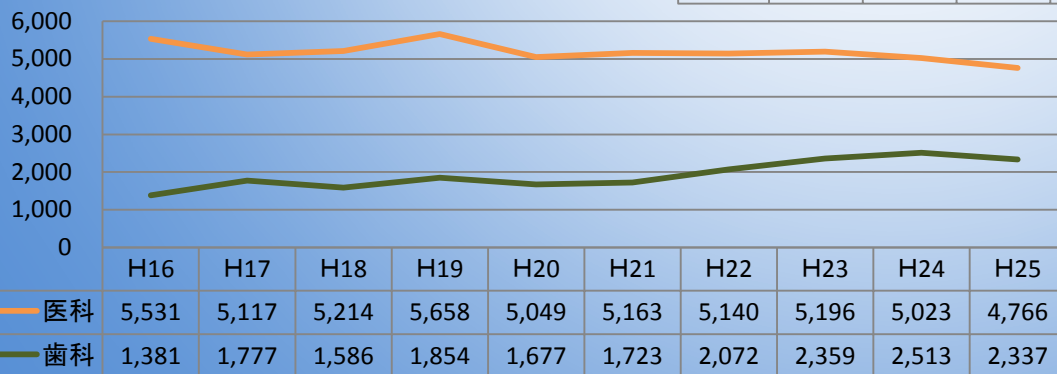
収益：増加傾向  
 専門医による検査・  
 処置の収益が増加

収益



単位：千円

患者数



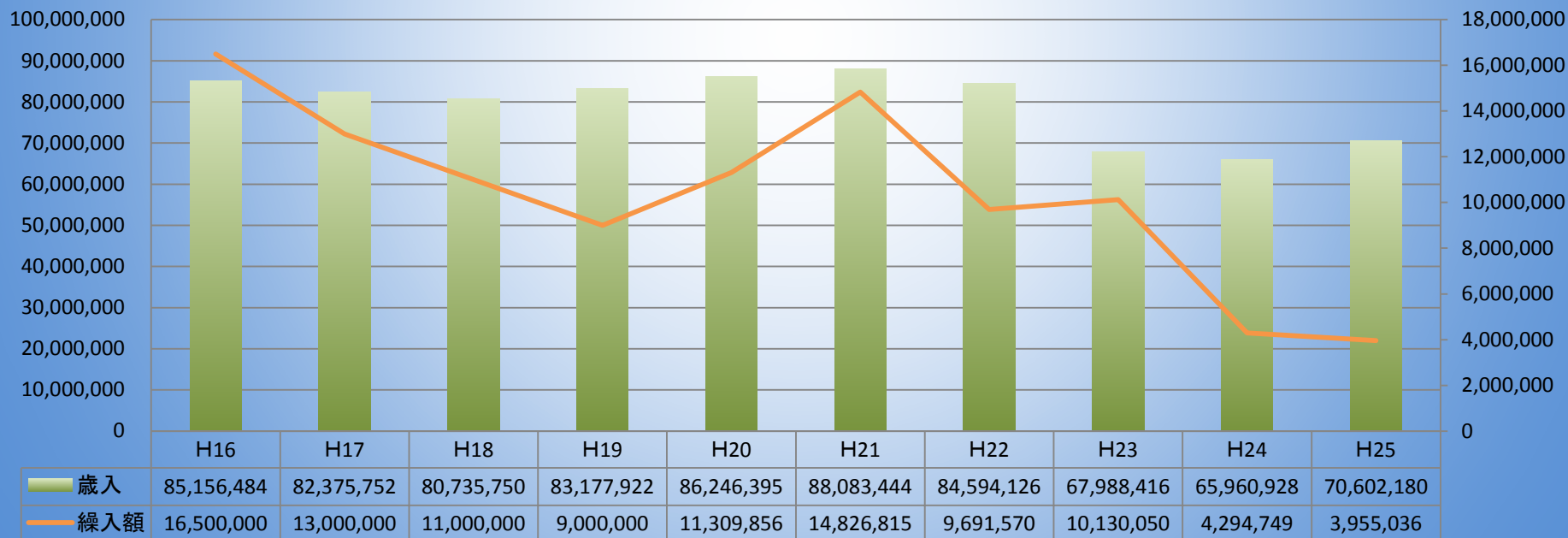
患者数：医科は減少傾向  
 歯科は増加傾向

# 指定管理者制度による運営

## 1. 五木村診療所の運営の健全化②

コンセプト： 公的医療機関を持つ自治体では繰入金を投入しても平成18年度統計で、全国973の自治体の赤字合計は1,986億円。経営努力(人件費の適正化・薬品費・材料費の購入金額・デットストックを含めた在庫の見直し等)により繰入金の負担軽減に資する。

歳入額と繰入額



五木村診療所に対する繰入金は、平成16年と比較すると、1200万円減少

# 指定管理者制度による運営

## 2. 五木村住民の健康診断及び予防活動

コンセプト： かかりつけ医的な役割を目指し、予防医療を含め総合的な医療の提供を行う。

### 1) 健康診断について

五木村住民健診においては人間ドック事業は人吉医療センターで行い、一般健診は、他機関が行っている。今後、五木村の保健師と相談し、総合的なフォローを目指している。

### 2) 予防接種事業について

各種予防接種は、専門医及び小児科医により、毎年度施行している。

### 3) セミナー開催について

循環器内科医師による「断煙講演」を平成23年度以降、年1回開催。  
また、各保育所において当院ボランティアチームによる「発熱対応講演」を開催している。

# 指定管理者制度による運営

## 3. 五木村との医療連携

コンセプト：当院から診療所までの距離・時間は、道路のインフラ整備が行われたとはいえ、かなりの距離・時間を要する。医療連携のためのITインフラ整備が必要である。

### 1) IT化の推進

平成24年度から、当院で使用している電子カルテ（医事会計システムを含む）画像ファイリングシステム MRI CT X線 RI、検体検査の情報、薬剤情報を整備し、情報の一元化を行っている。今後、iPad等のIT機器を利用し訪問看護等にも力を入れていく。

### 2) 病診連携の推進

かかりつけ医を当センターが担当することで、住民の安心・安全を確保していると考えます。また、当院がヘリポートを所有していることで、ドクターヘリの受入が可能なこと、救急告示病院・二次救急病院であり、断らない救急を実践していることから、更に夜間の救急対応にも貢献していると考えます。



# 派遣医

- 自治医大出身者のキャリア、専門医取得
- 学会参加、有給休暇、ワークライフバランス
- 子育て、教育、不便
- 充実感がない仕事に対するストレス、へき地生活のストレス  
「地域中核病院から派遣」
- 月1回や週1回なら文句は出ない
- 熊本からなら2時間以上かかる
- 顔見知りの（ベテラン）先生が手伝う
- 大学医局派遣の若い医師は派遣しない
- 地域住民との触れ合い
- サテライトクリニック（外来）
- 大学から地域外来は○、へき地外来助成は×
- 急性期医療から離れ少しリフレッシュ??



「へき地医療支援機構の助成不要」

# 「全身が診れる医師」に 24時間、365日いてほしい

- 全身が診れる医師教育はやってこなかった
- 自治医大出身者等に押し付けてきた
- 無床診療所→実際は24時間、365日にはなっていない
- インフラ整備・ヘリ→時間短縮
- 診療内容：プライマリーケア<救急<慢性疾患、介護？
  
- 専門性の高い外来診療
- 電子カルテ連結→診療情報共有
- 24時間、365日病院がバックアップ

# へき地医療 ～継続のための問題点～

---

## ◆医師確保

へき地医療において、統括的・総合的に診療できる医師は必要であり、総合診療医の育成は不可欠である。当院には、へき地医療を行うことで、県より自治医科大学卒の医師1名が派遣されているが、専門医のへき地派遣は、地域住民において医療に対する安心・安全を確保する観点から重要な要素として捉えている。

専門医と総合診療医の派遣を今後進める中で、当院の専門医の充足及び自治医科大学卒の医師複数制は喫緊の課題と言える。

## ◆IT化の推進

当センターと診療所の診療記録を同じ機種 of 電子カルテで行うことで、患者管理の一元化が推進できたが、今後、訪問看護を含めた在宅医療を進めるにあたり、SMSを含めたIT化の推進が重要であると考えます。インフラ整備に対し、国及び県の積極的な支援が必要ではないでしょうか。

# 地域医療とへき地医療

- 地域医療支援病院とへき地医療支援病院
  - － 地域がへき地
  - － へき地医療支援病院が支援される
- へき地医療支援機構・地域医療支援機構・地域医療機能推進機構
  - － 抱える問題は同じ
  - － 連携・協力・統合
- 医療計画とへき地保健医療計画
  - － 統合

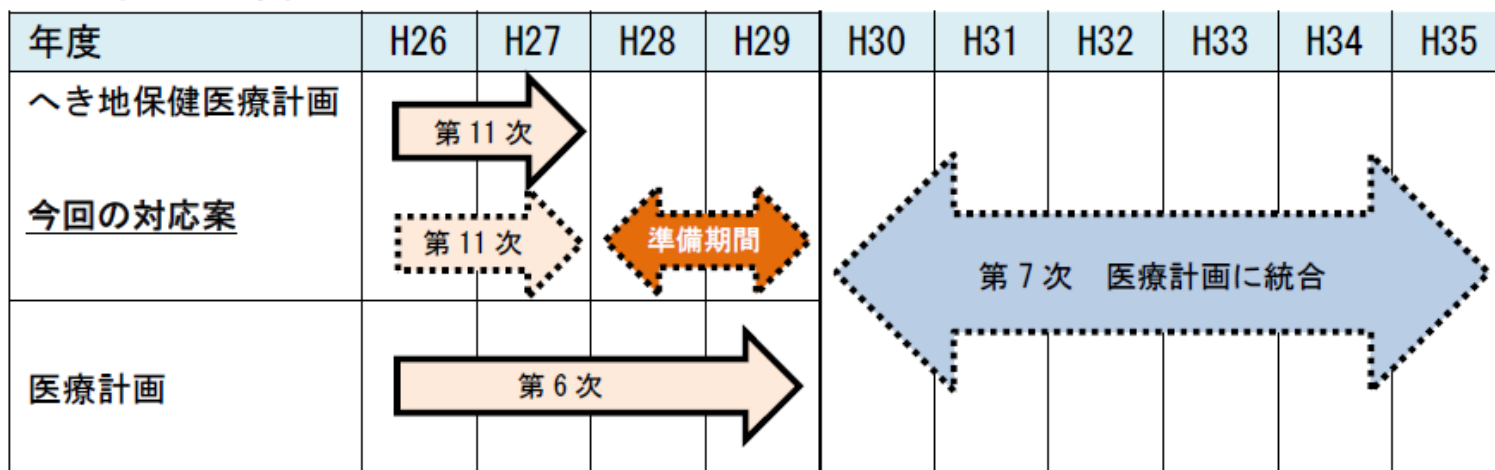
# へき地保健医療計画について

参考:厚生労働省ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10801000-Iseikyoku-Soumuka/0000054905.pdf>

○へき地保健医療計画	第10次計画期間	平成18～22年度
	第11次計画期間	平成23～27年度
○医療計画	第5次計画（へき地が追加）	平成20～24年度
	第6次計画	平成25～29年度
	第7次計画	平成30～35年度

## <イメージ図>



# 熊本県地域医療支援機構

関連リンク



Kumamoto University

## 熊本大学医学部附属病院

(財)日本医療機能  
評価機構認定病院



外来のご案内

入院のご案内

診療科等のご案内

医療機関の方へ

教育・研究・研修

建



### 診療科等のご案内

内科部門

## 地域医療支援センター



# 熊本県へき地医療支援機構



熊本県内のへき地医療拠点病院・へき地診療所（平成25年度）

## ■へき地医療拠点病院

- ① 山都町包括医療センターさよう病院
- ② 球磨郡公立多島木病院
- ③ 上天草市立上天草総合病院

## ■へき地診療所

- ① 熊本市立熊本市市民病院附属若野診療所
- ② 阿蘇市波野診療所
- ③ 産山村診療所
- ④ 産山村歯科診療所
- ⑤ 北部へき地診療所
- ⑥ 錦川へき地診療所
- ⑦ 井無田へき地診療所
- ⑧ 下岳診療所
- ⑨ 雄原診療所
- ⑩ 泉苗科診療所
- ⑪ 葦北町国民健康保険 吉厚温泉診療所
- ⑫ 葦北町国民健康保険 吉厚温泉診療所大岩出張所
- ⑬ 国保水俣市立総合医療センター 附属久木野診療所
- ⑭ 古厚敷診療所
- ⑮ 五木村診療所
- ⑯ 堀木診療所
- ⑰ 湯島へき地診療所
- ⑱ 敷島木診療所
- ⑲ 御所浦北診療所





**熊本赤十字病院  
へき地医療支援センター**



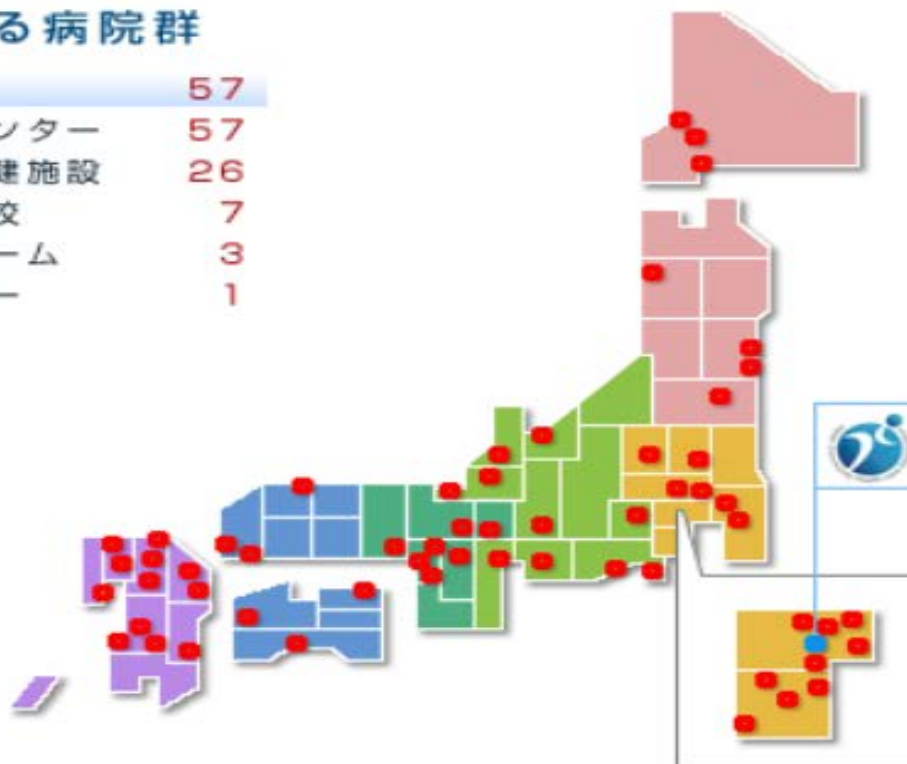
独立行政法人

地域医療機能推進機構



## 全国に広がる病院群

・病院	57
・健康管理センター	57
・介護老人保健施設	26
・看護専門学校	7
・健康増進ホーム	3
・研修センター	1

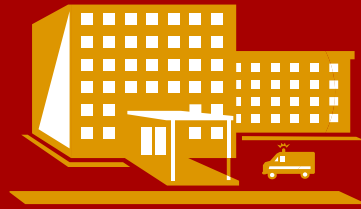


JCHO本部

東京都港区高輪3-22-12



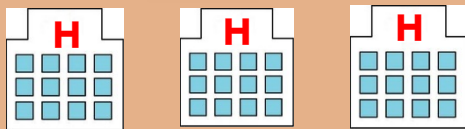
# 地域医療支援(重層型)イメージ



大学病院  
県地域医療支援機構  
県へき地医療支援機構  
県へき地医療支援センター



圏域別  
各 地域医療支援病院  
各 地域中核病院  
各 (地域医療機能推進機構)



圏域別  
各 へき地医療支援病院  
社会医療法人 小病院  
診療所 へき地診療所  
療養施設